

いじめ

早期発見!

早期対応!

未然防止!

「いじめ」は、一部の特別な子どもだけではなく、どの子どもも「いじめられる側」にも「いじめる側」にもなり得る問題です。「いじめ」から子どもを守るためには、「いじめ」は絶対に許されないことを日頃から家庭で話題にしたり、子どもの様子に変化が見られた際には、早期に学校や相談機関と連携して対応することが大切です。

早期発見!

見逃さないで!! いじめのサイン

いじめを早期に発見するために、下の項目をチェックしてみましょう。

■ 衣服や所持品の変化

- 衣服が汚れたり、破れたりしている
- 学用品や所持品の紛失や壊された様子が頻繁にある
- 教科書・ノートなどに落書き・破損がある
- 嫌がらせの手紙や紙切れがある
- 家庭から品物やお金を持ち出したり、必要以上に小遣いを要求したりする
- 靴や傘などが隠されたり、いたずらされたりするようになる

■ 友人関係の変化

- 親しかった友達が遊びに来なくなったり、遊びに行く回数が減ったりする
- 電話に出たがらなかったり、友達の誘いを断ったりするようになる
- 学校や友達に対する不平や不満を口にするようになる
- 転校したい、学級を変わりたい、部活動をやめたいなどの話をするようになる

■ 行動の変化

- なかなか起きてこなかったり、朝食を食べようとしめない
- あいさつをしても返事が返ってこない
- 家族との会話を避けるようになる
- 家族に乱暴したり、口答えや八つ当たりをしたりする
- 学習意欲がなくなり、忘れ物が多くなる
- 持ち物をなくした、落としたなどと言うことが多くなる

■ 身体や情緒面の変化

- 身体に傷やアザがあったり、鼻血を出した跡が見られる
- 頭痛・腹痛・吐き気・不眠を訴える
- 表情が暗くなり、視線を合わせるのを避ける
- 口数が少なくなり、学校や友人のことを話さなくなる
- イライラしたり、オドオドしている

※項目の中には、思春期によく見られる変化もありますが、子どもの小さな変化を見逃さないことが大切です。



いじめは決して許されない行為です!

はやし立てる行為もいじめです!
見て見ぬふりもいじめと同じです!

※はやし立てたり面白がったりする行為は、いじめをさらにひどいものにします。また、見て見ぬふりをすることは、いじめを認めていることとなります。

相手を精神的に苦しめる行為は、全て「いじめ」です。「いじめ」には、からかいやいじわる、いたずらや嫌がらせ、陰口や無視など、いろいろな種類があります。

子ども同士の「ふざけ」や「よくあるトラブル」と見過ごさず、学校や相談機関と連携して早期に対応しましょう。